

看護学部
ISOMI Chie
PROFILE
職名 看護学部 看護学科准教授
学歴 千葉大学大学院看護学研究科 博士前期課程修了(2002)
学位 修士(看護学)(千葉大学、 2002)
所属学会 日本看護学会、日本看護研究学会、 千葉看護学会、日本看護科学学会、 日本老年看護学会、日本がん看護学会
専門分野 臨床看護学、慢性期看護

磯見 智恵

いそみ ちえ

- 研究課題1 ● がん患者および家族への看護
- 研究課題2 ● 慢性疾患をもつ人と家族への看護
- 研究課題3 ● 後期高齢糖尿病患者のセルフケアに関する研究

業 績

【著書】
『災害看護—看護の専門知識を統合して実践につなげる』/「慢性期看護と災害」、南江堂、2008年12月、共著。

『人体の構造と機能からみた病態生理ビジュアルマップ1』/「肺線維症患者ケア」、医学書院、2010年、共著。

『人体の構造と機能からみた病態生理ビジュアルマップ3』/「甲状腺機能低下症患者ケア」、医学書院、2010年、共著。

【学術論文】
「訪問看護師が認識する訪問看護を利用する後期高齢糖尿病患者のセルフケア上の問題状況と看護」/日本糖尿病教育・看護学会誌、2010年3月、共著。

「外来化学療法を受ける患者の家族の困難と対処」/第40回日本看護学会論文集成人看護Ⅱ、2010年2月、共著。

「脊柱後彎のある高齢者の日常生活上の困難とその対処」/第39回日本看護学会論文集—老年看護—、2009年3月、共著。

「高齢者疑似体験装具を装着した看護学生のベッドサイドでの歩行器移動時における危険認識と危険動作」/第39回日本看護学会論文集—成人看護Ⅱ—、2009年2月、共著。

「外来における看護相談に関する検討—看護教員による看護相談の分析から—」/福井大学医学部研究雑誌、2008年12月、共著。

「外来通院している消化器系がん患者のQOLと影響要因」/第37回日本看護学会論文集—成人看護Ⅱ—、2007年2月、共著。

「歩行器利用者と看護師の歩行器使用の認識」/第37回日本看護学会論文集—成人看護Ⅱ—、2007年2月、共著。

「特別養護老人ホーム入所者における主観的幸福感の特徴—通所系サービス利用高齢者との比較—」/第35回日本看護学会論文集—老年看護—、2005年1月、共著。

「術後急性期の看護実践活動の内容とその構造—現任教育プログラム開発に向けて—」/福井大学医学部研究雑誌5(1・2合併号)、2004年12月、共著。

【国内学会発表】
「歩行器使用患者のベッドサイドでの移乗における危険動作の研究」/第41回日本看護学会—老年看護—、2010年9月、共同。

「がん看護専門職の組織における位置づけと専門的看護実践の検討」/第24回日本がん看護学会学術集会、2010年1月、共同。

「外来化学療法を受ける患者の家族の困難と対処」/第40回日本看護学会成人看護Ⅱ、2009年9月、共同。

「がん看護の組織形成における看護専門職の実践活動に関する認識と課題」/第23

回日本がん看護学会学術集会、2009年2月、共同。
「看護技術熟達化のための教育方法の開発—ロボットシステムによる演習の効果」/第28回日本看護科学学会、2008年12月、共同。

「歩行器利用者の利用姿勢に応じた歩行器の速度制御」/平成20年度電気関係学会北陸支部連合大会、2008年9月、共同。

「高齢者疑似体験装具を装着した看護学生のベッドサイドでの歩行器移動時における危険認識と危険動作」/第39回日本看護学会—成人看護Ⅱ—、2008年9月、共同。

「脊柱後彎のある高齢者の日常生活上の困難とその対処」/第39回日本看護学会—老年看護—、2008年9月、共同。

「消化器がん患者の情報ニーズ」/日本看護研究学会第21回近畿・北陸地方会、2008年3月、共同。
「外来における看護相談の現状と課題」/日本看護研究学会第21回近畿・北陸地方会、2008年3月、共同。

「消化器がん手術後患者の食生活管理状況とQOL」/第22回日本がん看護学会学術集会、2008年2月、共同。
「看護学生の情緒的コンピテンスに関する検討—実習前後および一般学生との比較—」/第27回日本看護科学学会学術集会、2007年12月、共同。

「知的歩行器における知的機能の検討—歩行器利用者の転倒軽減に向けて—」/平成19年度電気関係学会北陸支部連合大会、2007年9月、共同。

「車椅子から歩行器歩行への移行期にある患者の歩行器使用に関する認識」/第38回日本看護学会—成人看護Ⅱ—、2007年8月、共同。

「成人中期在宅酸素療法患者の生活上の困難と対処」/第38回日本看護学会—成人看護Ⅱ—、2007年8月、共同。

【国際学会発表】
「Bathing-related Behavioral Issues of Persons with Alzheimer’s disease: A Severity-based Analysis」/21st International Conference of Alzheimer’s Disease, Istanbul(Turkey)、2005年10月、共同。

「Innovation for an educational tool for nursing technique: Application of interactive patient robot for nursing laboratory」/20th international Networking for Education in Healthcare、共同。